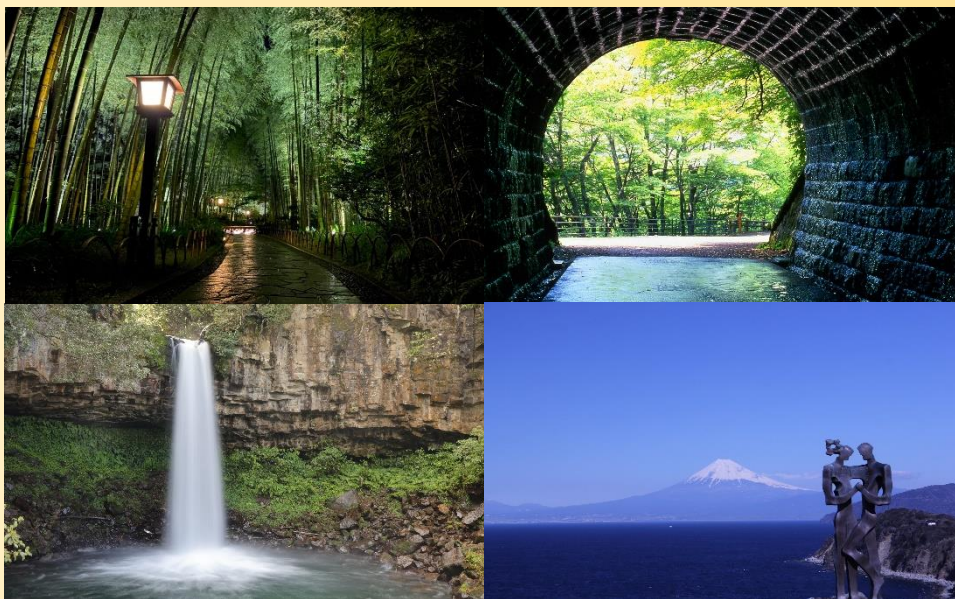


伊豆市の

令和6年度 わかりやすい決算書



総合政策部

企画財政課



20th
Anniversary

目次

1. 決算の基礎知識

- 「決算」って何？・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 決算はどうやって決まるの？・・・・・・・・・・ 3

2. 令和6年度決算について

- 令和6年度の決算は黒字？赤字？・・・・・・・・ 4
- どのような歳入があったの？・・・・・・・・ 5
- どのように使われたの？・・・・・・・・・・ 6

3. 伊豆市の財政状況について

- 伊豆市の財政は大丈夫なの？・・・・・・・・ 8

4. 主要事業の決算状況

- 主要事業の決算についての説明・・・・・・・・ 10

I. 決算の基礎知識

Q 決算って何？

A 一年間で、市にどれだけのお金が入って、どんなことにいくら使ったかをまとめたものです。

決算は議会への報告が法律で定められており、議会に提出する資料として、決算書を作成します。

決算書では、市に入ってくるお金を歳入、使ったお金のことを歳出といいます。



どうして決算を議会に報告するの？



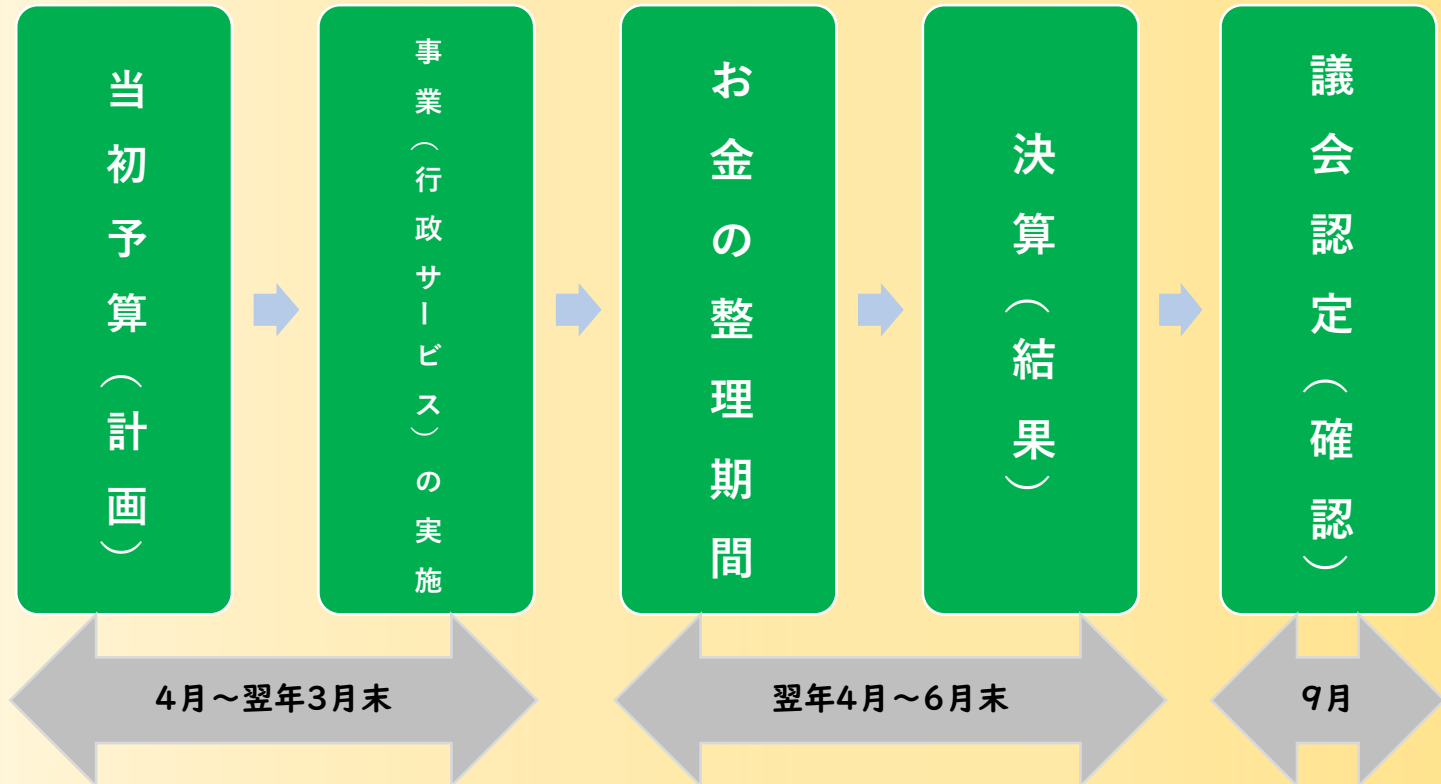
市の歳入には、市民の皆様からの税金も多く含まれています。そのため、皆様から納めていただいた税金が正しく使われているかを、市民の代表である議会にチェックしてもらうために決算報告をする必要があります。

I. 決算の基礎知識

Q 決算はどうやって決まるの？

A 新しい年度が始まると、決められた予算に基づき各課が予定している事業（行政サービス）を行います（4/1～翌年3/31）。

年度終了後、実際にどれくらいの金額が使われたかをまとめ、決算書を作成し議会へ提出し、認定をもらうことで決算が決まります。

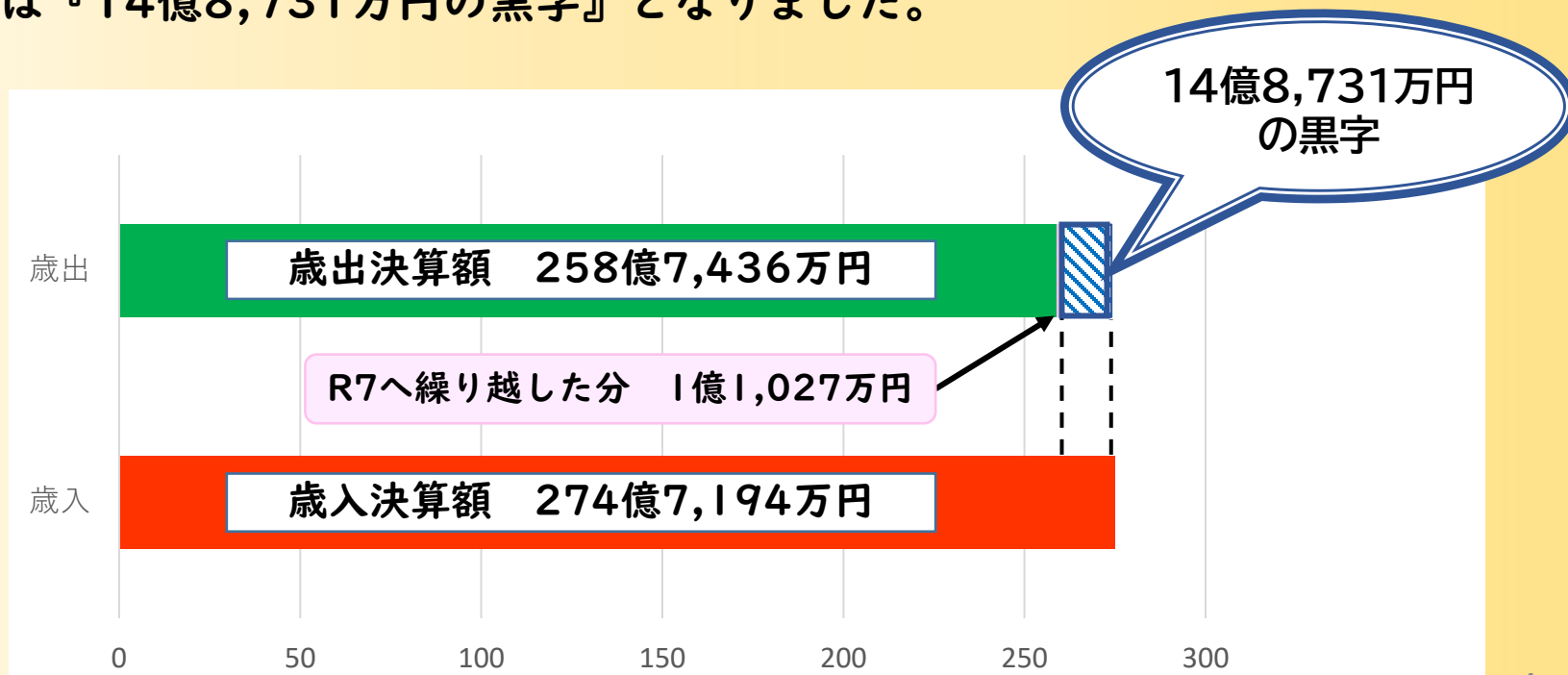


2. 令和6年度決算について

Q 令和6年度の決算は黒字？赤字？

A 令和6年度の決算額は、歳入が274億7,194万円、歳出が258億7,436万円となりました。また、歳入から歳出を引いた15億9,758万円のうち1億1,027万円は令和6年度中に完了できなかった事業のためのお金として、令和7年度に繰り越して使います。

歳入から、歳出と令和7年度に繰り越した分を引いた結果、令和6年度は『14億8,731万円の黒字』となりました。



2. 令和6年度決算について

Q どのような歳入があったの？

A 令和6年度は大きく分けて次のような歳入がありました。

項 目	説 明	令和6年度決算額	前年度比 (増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	103億6,033万円	+8億2,077万円
市税	皆さまから納めていただいた税金です。	41億 261万円	▲7,024万円
寄附金	ふるさと納税などにより、伊豆市に寄附していただいたお金です。	13億8,028万円	+1億9,927万円
繰入金	市の貯金（基金）を取り崩して使うお金です。	21億 240万円	+3億6,790万円
その他	施設の使用料や財産収入、前年度からの繰越金などです。	27億7,504万円	+3億2,384万円
依存財源	国や県からの補助金や市債（借金）のことです。	171億1,161万円	+31億5,891万円
国・県支出金	特定の事業に使うために、国や県から交付されるお金です。	46億9,090万円	+5億7,278万円
地方交付税	一定の行政サービスを確保するために、国から県や市町村に交付されるお金です。	63億1,878万円	+1億8,134万円
市債	事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。	46億6,669万円	+22億1,179万円
その他交付金等	国や県が集めた税金を各自治体へ分配する譲与税や地方消費税交付金などです。	14億3,524万円	+1億9,300万円
合 計		274億7,194万円	+39億7,968万円

ポイント！



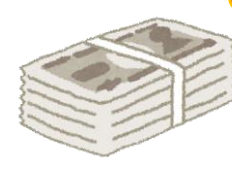
伊豆市は自主財源に比べて依存財源が多くなっています。自主財源が多いほど自由に使える財源が多くなるため、ふるさと納税のさらなる増加や移住定住の促進に取り組んでいます。

2. 令和6年度決算について

Q どのように使われたの？

A 令和6年度の予算は、次のとおり使われました。

目的別

議会の運営に 0.5%  議会費 1億2,677万円	市役所の運営などに 12.4%  総務費 32億1,791万円	児童・高齢者福祉などに 21.0%  民生費 54億3,729万円	医療やごみ処理などに 9.7%  衛生費 25億668万円
雇用拡大の施策などに 0.1%  労働費 1,601万円	農林業の振興などに 1.8%  農林水産業費 4億7,468万円	産業や観光の振興などに 3.4%  商工費 8億6,853万円	道路や公園などの整備に 9.0%  土木費 23億3,326万円
消防活動や防災などに 6.6%  消防費 17億947万円	学校教育などに 21.6%  教育費 56億131万円	借金の返済に 7.5%  公債費 19億3,986万円	貯金の積立てなどに 6.4%  16億4,259万円

2. 令和6年度決算について

性質別

項 目	説 明	令和6年度決算額	前年度比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	76億9,742万円	+5億230万円
人件費	職員の給料や議員の報酬などに使う経費です。	29億6,963万円	+1億9,074万円
扶助費	福祉や医療などに使う経費です。	27億8,793万円	+2億2,242万円
公債費	市の借金を返済するための経費です。	19億3,986万円	+8,914万円
投資的経費	道路、建物等の公共施設の整備や災害復旧に係る経費です。	79億4,927万円	+35億3,761万円
その他経費	物件費や補助費等のその他の経費です。	102億2,767万円	2億8,671万円
物件費	光熱水費や消耗品費、委託料などの経費です。	36億2,419万円	+3億35万円
維持補修費	施設の維持管理に使う経費です。	7,363万円	▲25万円
補助費等	ほかの団体への補助金や負担金などの経費です。	36億8,322万円	+2,834万円
積立金	各種基金（市の貯金）への積立てにかかる経費です。	14億6,764万円	▲6,870万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	13億7,899万円	+2,697万円
合 計		258億7,436万円	43億2,662万円

ポイント！



伊豆中学校や危機管理センターなど大型施設の整備が進んだことにより、投資的経費が大きく増加したほか、令和2年度に借り入れた借金の元金の返済開始により公債費が増加しています。

3. 伊豆市の財政状況について

伊豆市の財政は大丈夫なの？



たくさんお金を使っているみたいだけど、
伊豆市の財政は大丈夫なの？
どうすれば分かるの？

市の財政状況は、4つの財政指標からみることができます。

それぞれの指標には基準があり、その基準と市の数値を比べることで、その市の財政が健全であるかどうかを判断します。



～4つの財政指標の説明～

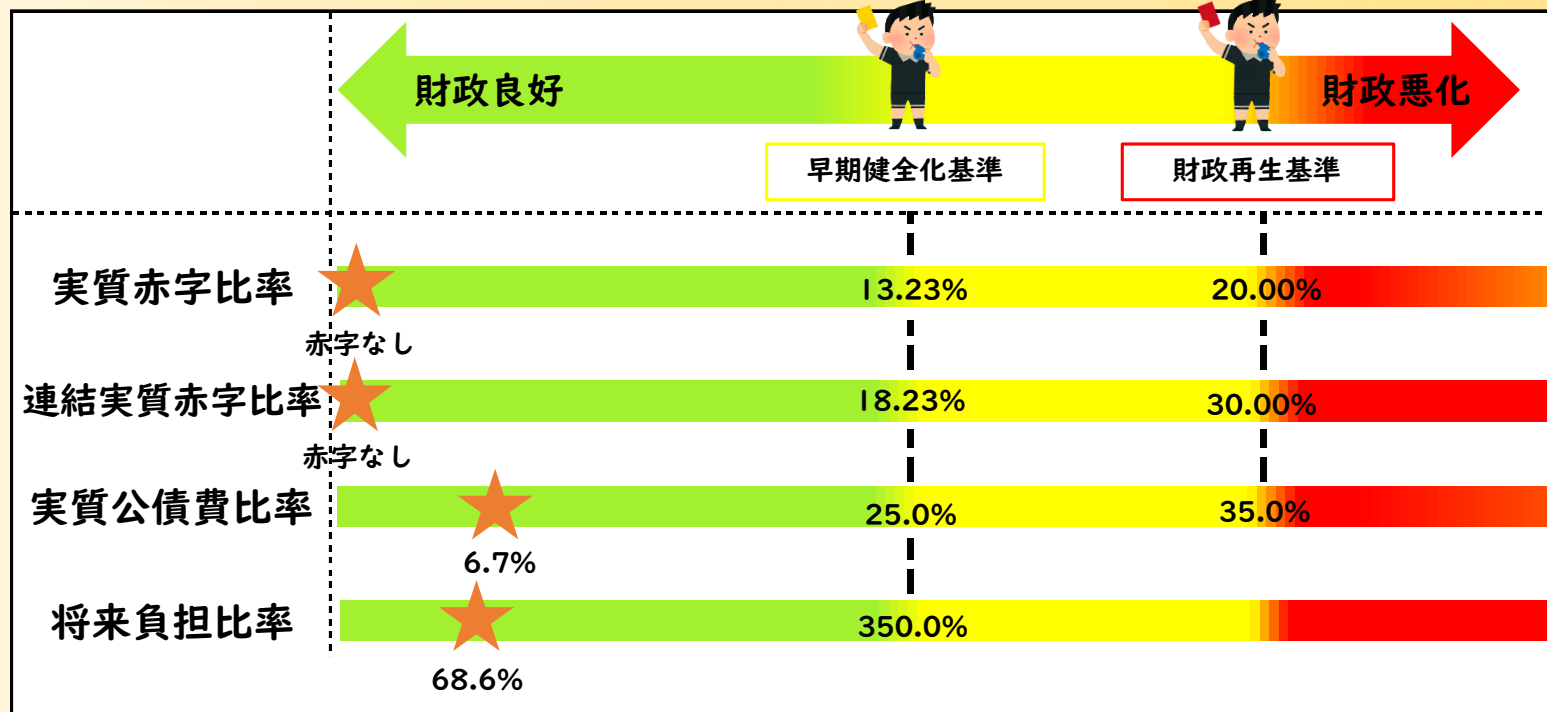
- | | |
|------------|---|
| 「実質赤字比率」 | 毎年安定して得ることのできる収入に対して、普通会計（一般会計と土地取得のための会計）でどれだけ赤字があるかの割合です。 |
| 「連結実質赤字比率」 | 毎年安定して得ることのできる収入に対して、すべての会計でどれだけ赤字があるかの割合です。 |
| 「実質公債費比率」 | 毎年安定して得ることのできる収入に対して、どれくらい借金を返済しているかの割合です。 |
| 「将来負担比率」 | 毎年安定して得ることのできる収入に対して、将来負担する債務（借金など）がどれくらいあるかの割合です。 |

3. 伊豆市の財政状況について



じゃあ、伊豆市の財政指標はどうなってるの？

財政指標について図にまとめました。伊豆市は、4つすべての指標で基準を大きく下回っており、健全な状態であると言えます。



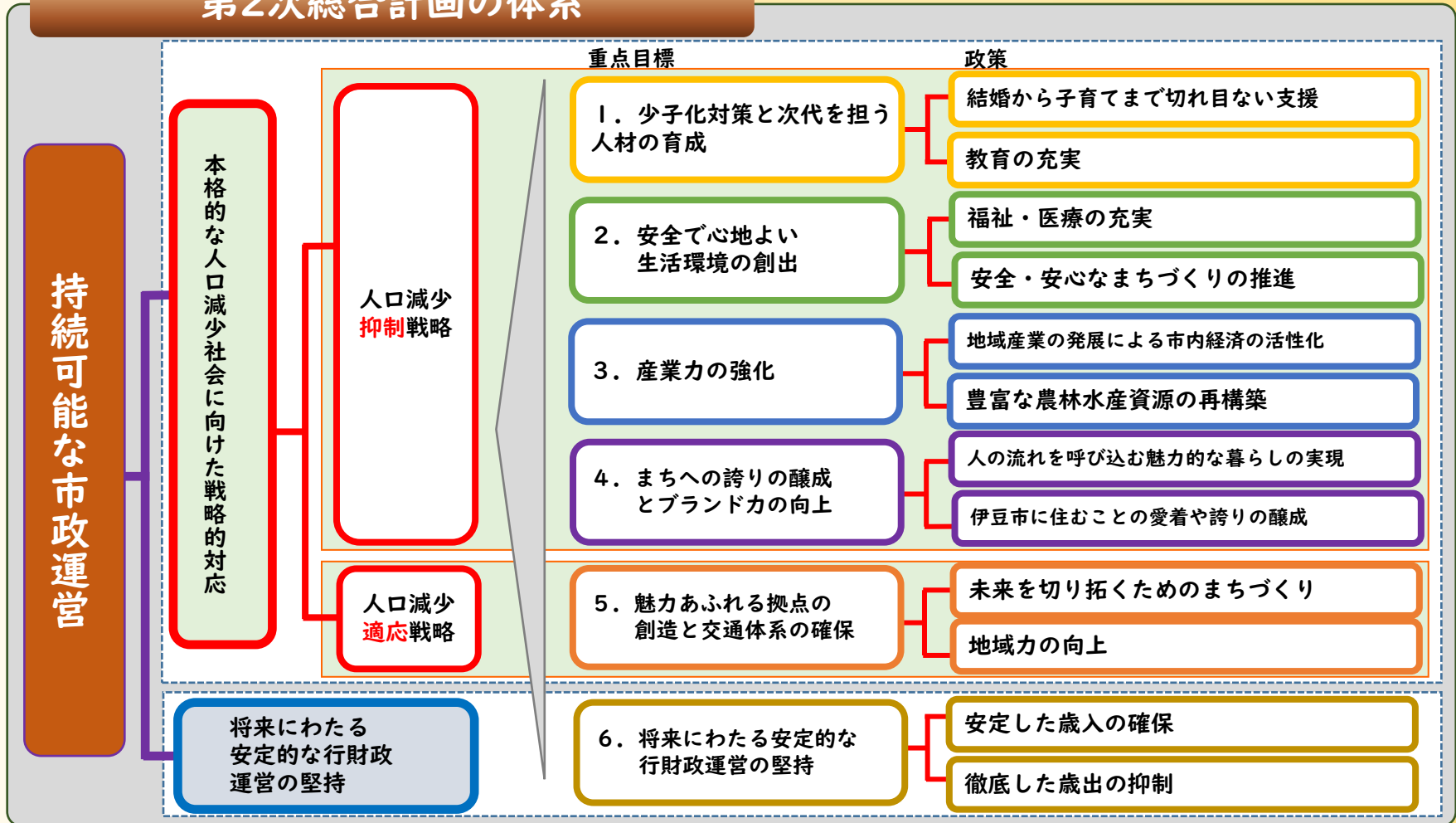
基準よりもこんなに低くなっているんだ！
これなら伊豆市の財政は大丈夫だね！



4. 主要事業の決算状況

令和6年度は、「市民（いのち）を守るまちづくり」として、「死者ゼロ」を目指した取組みを重点的に推進していくとともに、第2次伊豆市総合計画後期基本計画を着実に推進するための事業を行いました。その中で、いくつかの主要事業について決算状況を報告します。

第2次総合計画の体系



4.主要事業の決算状況

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

夜間小児医療確保補助金

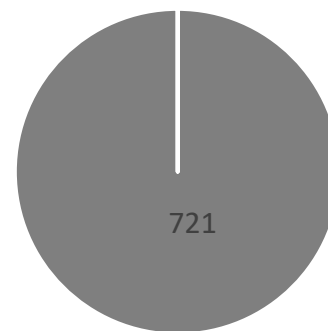
決算額 721万円

安心して子育てができる環境整備のため、夜間診療を実施した市内の小児科医療機関に対して、経費の一部の補助を行いました。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

健康長寿課

4.主要事業の決算状況

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

伊豆中学校整備事業

決算額 35億9,556万円

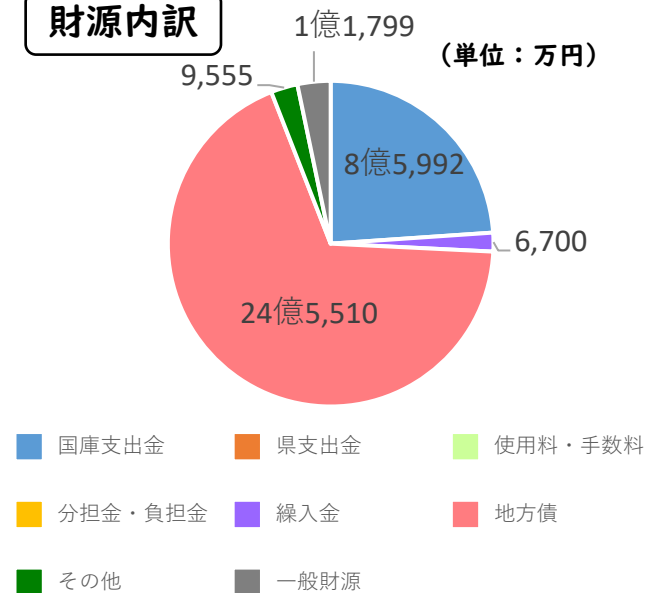
修善寺中学校・中伊豆中学校・天城中学校の3つの中学校を統合した伊豆中学校の建築工事を行いました。

伊豆中学校は令和7年4月に開校しました。



▲完成した伊豆中学校

財源内訳



担当課

学校教育課

4.主要事業の決算状況

重点目標 2

安全で心地よい生活環境の創出

ひなた公園整備事業

決算額 5億21万円

日向地区に整備する防災機能を兼ね備えた公園のための土地の購入や、管理棟・トイレ棟及び公園の整備工事を行いました。

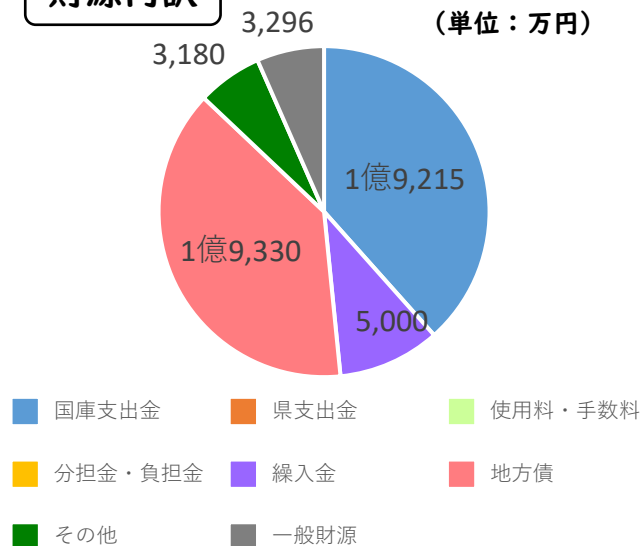
令和8年度中の完成を目指し、工事を進めています。



▲整備を進めるひなた公園

財源内訳

(単位：万円)



担当課

都市計画課

4.主要事業の決算状況

重点目標2

安全で心地よい生活環境の創出

危険管理センター整備事業

決算額 3億8,791万円

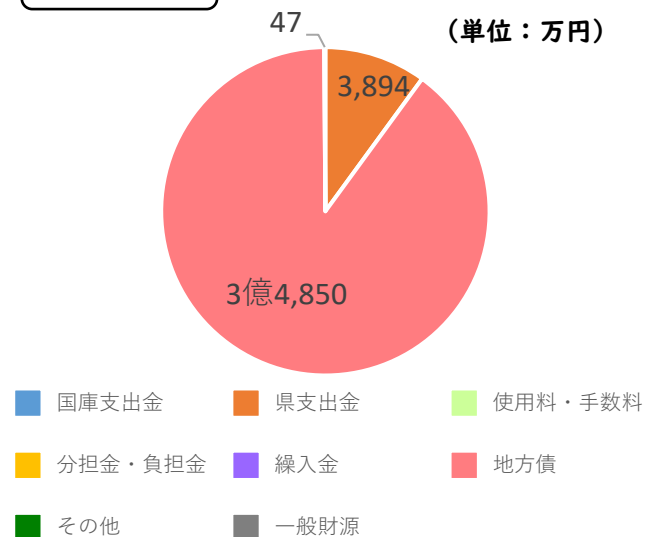
ひなた公園内に整備する、災害対策の拠点となる危機管理センターの建設工事を行いました。

令和7年度中の完成を目指し、工事を進めています。



▲建設中の危機管理センター

財源内訳



担当課

危機管理課

4.主要事業の決算状況

重点目標3

産業力の強化

東京2020レガシー創出事業

決算額 1,393万円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場である伊豆ベロドロームの施設見学会や試乗体験会を開催しました。

また、自転車の市民への普及を目的に、自転車購入に対する補助や、ランニングバイク教室等を行いました。

【R6実績】

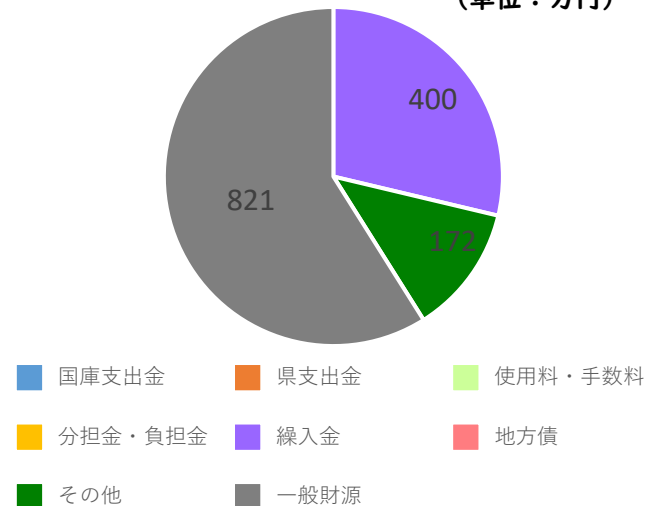
自転車購入補助件数：113件



▲伊豆ベロドロームで開催された、「ふじさんっこCUP」の様子

財源内訳

(単位：万円)



担当課

観光商工課

4.主要事業の決算状況

重点目標3

産業力の強化

Izu Wasavisor Center活用事業

決算額 818万円

完成した「Izu Wasavisor Center
(伊豆わさビジターセンター)」の管理
運営を行いました。

また、オープニングセレモニー等のイ
ベントを開催しました。

【R6実績】

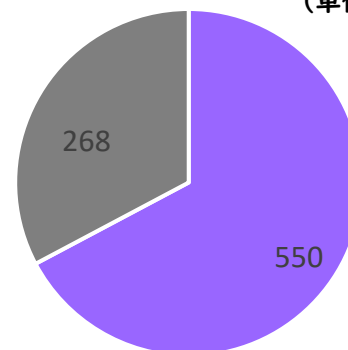
施設来館者数：4,244人



▲オープニングセレモニーの様子

財源内訳

(単位：万円)



担当課

農林水産課

4.主要事業の決算状況

重点目標4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

移住定住促進事業

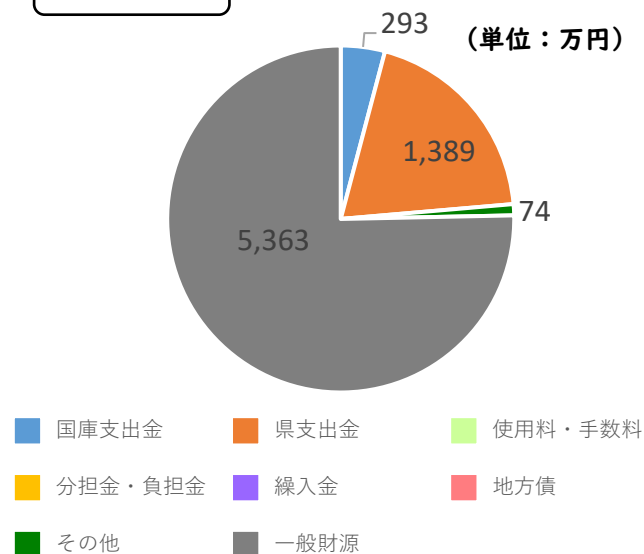
決算額 7,119万円

人口減少の抑制を図るため、移住定住促進補助金等、各種補助金の支給やお試し住宅の運営を行いました。

また、空き家バンク登録促進補助金について、より利用しやすくするために内容を見直し、空き家バンクに登録する方すべてを対象としました。



財源内訳



担当課

地域づくり課

4.主要事業の決算状況

重点目標4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

市制20周年記念事業

決算額 690万円

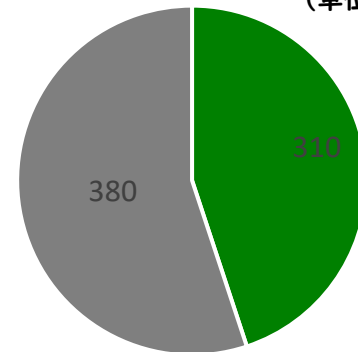
市制20周年を記念して、「げんきスポーツフェスタ」などの記念イベントや、市や近隣市町の地場産品を利用したふるさと給食の提供、ご当地原付ナンバープレートを作成などを実施しました。



▲市制20周年記念エスパルス招待企画でのプロモーションの様子

財源内訳

(単位：万円)



- | | | |
|---------|------|---------|
| 国庫支出金 | 県支出金 | 使用料・手数料 |
| 分担金・負担金 | 繰入金 | 地方債 |
| その他 | 一般財源 | |

担当課

企画財政課 他

4.主要事業の決算状況

重点目標 5

魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

狩野川記念公園魅力化事業

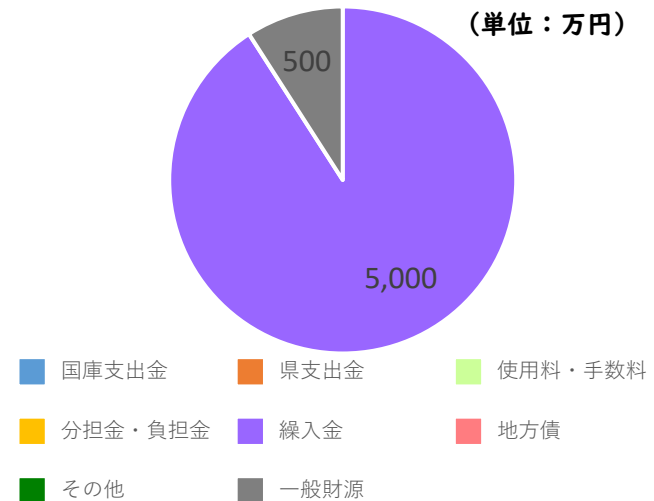
決算額 5,500万円

新たな遊具の設置やウッドデッキの整備などを行い、子育てファミリーが集まる身近な広場としての魅力化を図りました。



▲狩野川記念公園遊具広場で遊ぶ子どもたち

財源内訳



担当課

社会教育課

4.主要事業の決算状況

重点目標5

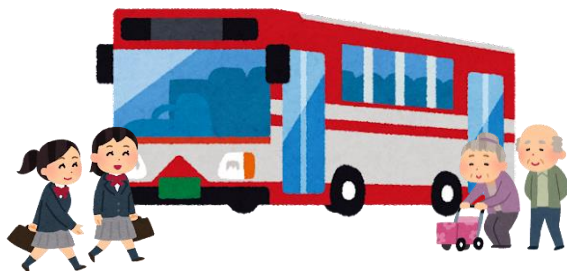
魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

交通利用助成事業

決算額 8,124万円

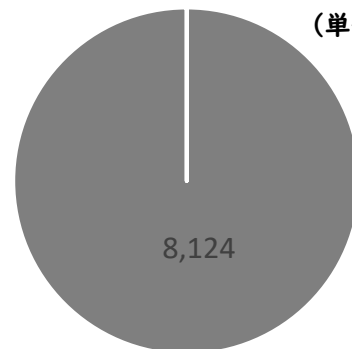
小学校・中学校・高校に通学する児童生徒の保護者の負担軽減と路線バスの利用促進のため、通学費に対する補助を行いました。

また、高齢者や障がいを持つ方の生活圏の拡大や福祉の増進を図るため、いきいきパスの購入に対する補助やタクシー・バス・鉄道の利用券の交付などを行いました。



財源内訳

(単位：万円)



- | | | |
|---------|------|---------|
| 国庫支出金 | 県支出金 | 使用料・手数料 |
| 分担金・負担金 | 繰入金 | 地方債 |
| その他 | 一般財源 | |

担当課

地域づくり課・社会福祉課
健康長寿課・学校教育課

4.主要事業の決算状況

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

未利用公共施設整理事業

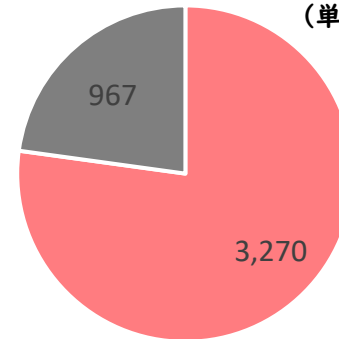
決算額 4,237万円

未利用となっている公共施設の整理を行うことにより、施設を今後維持していくために必要な経費の削減を図りました。



財源内訳

(単位：万円)



国庫支出金	県支出金	使用料・手数料
分担金・負担金	繰入金	地方債
その他	一般財源	

担当課

用地管理課・上下水道課
子育て支援課

4.主要事業の決算状況

重点目標6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

中伊豆室内温水プール長寿命化改修事業

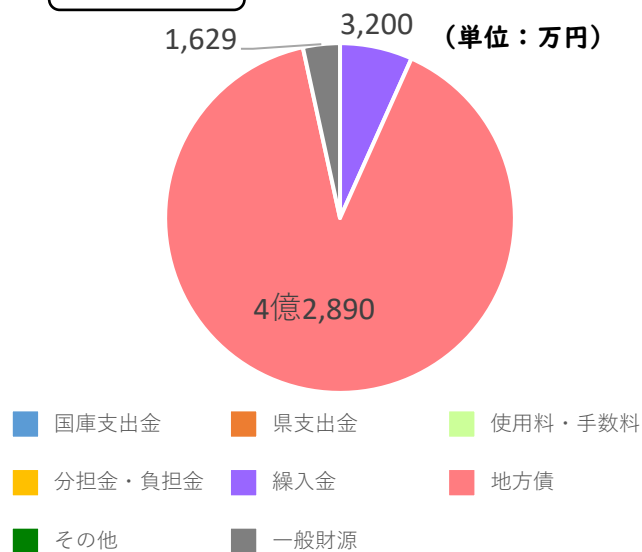
決算額 4億7,719万円

快適な施設環境の整備や、より長く施設を利用することを目的に、長寿命化計画に基づいた大規模な改修工事を実施しました。



▲工事が完了した中伊豆室内温水プール「ふれっぷ」

財源内訳



担当課

社会教育課

令和 6 年度伊豆市のわかりやすい決算書

- 発行年月日 令和 7 年 1 0 月
- お問い合わせ先 伊豆市総合政策部企画財政課財政スタッフ
静岡県伊豆市小立野 3 8 番地の 2
電 話 (0 5 5 8) 7 2 - 9 8 5 9
F A X (0 5 5 8) 7 4 - 3 0 6 7